



炉端の会
2020.02

「炉端の会」のひとり言-1

◇「炉端の会」18期の園外催し「紅葉の大山阿夫利神社散歩」

昨年11月24日に「紅葉の大山阿夫利神社散歩」を炉端の会18期の本年度6回目のイベントとして行いました。

小田急線伊勢原駅に着く頃には前日からの雨も上がり、そんな天気のおかげで心配していた紅葉シーズンの混雑もなくケーブルカーで大山阿夫利神社に到着。

今回も19期の方の参加を得て8名で大山阿夫利神社、ちょっと大山登山道、古い納め太刀見学と大山寺の紅葉を楽しんできました。

山へ行くことを考えて厚着をしていたみんなもつぎつぎに脱いでいくほどの暖かさになり、神社からは遠く江の島が望める天気でした。

阿夫利神社の権禰宜の目黒さんには、昨年3月7日の大山街道アクションフォーラムで面識があったので、神社の歴史などの説明をしてもらいました。下山は急な階段を歩いて大山寺に寄り、真っ赤な紅葉を背景に記念写真お昼は名物の豆腐料理を参道にある「ねぎし」で味わいました。



(大山の紅葉)



(大山阿夫利神社前での集合写真)



(昼食の豆腐料理)

次回は2月18日に「臥龍梅と三溪園散歩」を19期と合同で行う予定です。

「炉端の会」のひとり言-2

◇「炉端の会」、英語ガイドチームの紹介

現時点での活動メンバーは19名。このうち12名はこの3年間に参加した人たちという比較的若いチームです。

来園者の数を増やしたいという民家園の方針に沿って、

- ①外国からの訪問者を火焚き棟でご案内する、
- ②正式に民家園から要請のあった団体のガイドを行うなどの活動を行っています。



(藍染体験通訳)

2019年からはこのような活動に加えて、藍染体験の通訳支援、民家園が主催する伝統芸能、人形浄瑠璃、農村歌舞伎などの公演活動に際し、外国人来訪者のための通訳活動なども行っています。



(歌舞伎公演)



(香港修学旅行)

メンバーを増やし、途切れることなく毎日、券売所に”英語ガイド可”の掲示を出せることを目指しています。



(人形浄瑠璃公演)

メンバー間で情報共有することを奨励し、グループウェアを活用して各自が調べた情報を常時閲覧できるようにしています。



(伝統芸能公演)

加えて毎年、後期にはチーム内で研修会を行い、メンバーの対応能力向上を図っております。



(英語研修)